




20th anniversary

New Production

Ludwig van Beethoven

# Fidelio

トップページ | 見どころ&ものがたり | スタッフ&キャスト | インタビュー&コラム | 公演日程&チケット情報 | 動画 | PDF印刷 | FOLLOW US   

新国立劇場 開場20周年記念特別公演

# フィデリオ

〈新制作〉

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

[全2幕/ドイツ語上演/字幕付]

チケット購入

 新国立劇場  
Webボックスオフィス

新国立劇場ボックスオフィス  
**03-5352-9999**  
10:00~18:00 / 年中無休  
(休館日2018年3月19日(月)を除く)

2018年 5月20日(日) 14:00 / 5月24日(木) 14:00

5月27日(日) 14:00 / 5月30日(水) 19:00

6月2日(土) 14:00



協賛: TOYOTA



## NEWS & TOPICS

新着情報



NEW 2018.03.30 インタビュー&コラムを公開しました

2018.01.26 『フィデリオ』特設サイトオープン

# Message from Artistic Director



## 『フィデリオ』の奥深さに徹底的に迫る

新国立劇場オペラ芸術監督 飯守泰次郎

『フィデリオ』は、ベートーヴェンが作曲した唯一のオペラです。ベートーヴェンは、『英雄』『運命』『第九』等の交響曲に代表されるように、「音楽によって人々をより崇高な世界へと導きたい」という熱狂的な欲求を持っていた、特別な作曲家です。

当時のオペラは、恋のもつれや嫉妬、裏切りなど、生の人間の姿を等身大で楽しみ、美しい声と歌唱の技巧を堪能するものでした。ベートーヴェンはそのような娯楽性を受け入れることができず、自分の理想に合致する台本を探し求めて苦労しました。そして、フランス革命の時代を背景に流行した「救出劇」と呼ばれる題材の中に、「より良く、より高貴な人間像」を描くにふさわしい、権力闘争に勝利する気高い夫婦愛、という崇高なテーマを見出したのです。

第1幕は世俗的で小市民的な場面から始まりますが、監獄所長ドン・ビツァロが登場すると、物語は一気に絶望と闘争に焦点が絞られていきます。歌とセリフで物語が進行するジングシュピール（歌芝居）と、最終場面のオラトリオのような合唱を、ひとつのオペラとして成り立たせているのは、やはりベートーヴェンの音楽の圧倒的な力です。

男装してフィデリオという偽名を使い、夫を救うために命を賭けて監獄に乗り込むレオノーレが、内心から沸きあがる決意と希望を歌い上げるアリアは、女性に対するベートーヴェンの高い理想像が凝縮されています。「囚人の合唱」では、「闇から光へ」というベートーヴェンの一生を貫くテーマが、感動的な響きで歌われます。第2幕で、長く地下牢に幽閉されているフロレスタンが初めて登場するアリアも、高潔な人格が見事に表現されています。

そして、フィナーレの合唱「素晴らしい妻を得た者はこの歓呼に参加せよ」は、その後もベートーヴェンの中で一生かけて温められ、20年後に作曲する『第九』で交響曲史上初めて用いられた声楽によって、同じ内容が再び高らかに歌われることになるのです。

『フィデリオ』、および交響曲を中心とするベートーヴェンの作品が、音楽史の流れを革命的に変えたことは、もはや言うまでもありません。しかし現代の社会は、「偉大なベートーヴェン」に慣れてしまい、私たちに語りかけるベートーヴェンの力強い本質にはいまだ到達できていないように思われます。『フィデリオ』が作曲されたのは、ヨーロッパにおける時代の大きな転換期でした。私たちが今、同じような転換期に生きています。新国立劇場20周年という節目こそ、彼の唯一のオペラの内容に改めて深く切り込むべき時、と考え、世界のオペラの次世代を担う特別な演出家であるカタリーナ・ワグナーに演出を依頼しました。皆さまとともに『フィデリオ』の真の奥深さに徹底的に迫り、私の新国立劇場オペラ芸術監督としての4年間を締めくくりたいと思います。



# Highlights & Story

## みどころ&ものがたり

高らかに鳴り響く自由への賛歌。  
ベートーヴェン唯一のオペラを新演出で

正義、自由そして人類愛を崇高な音楽で描いた  
ベートーヴェン唯一のオペラ『フィデリオ』を、  
開場20周年を記念し新制作で上演します。

[Read More](#)



# Staff & Cast

## スタッフ&キャスト



[Read More](#)

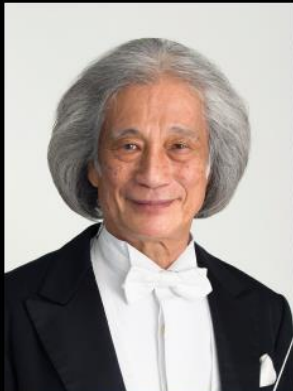


## 『フィデリオ』のテーマはどの時代にも起こりうること

演出 カタリーナ・ワグナー

新国立劇場開場20周年記念公演の新作『フィデリオ』の演出を担うのは、カタリーナ・ワグナー。リヒャルト・ワグナーの曾孫であり、パイロイト音楽祭総監督である彼女は、新たな観点から作品を解釈することで知られる気鋭の演出家だ。生まれながらの舞台人である彼女が新国立劇場で初めて演出する『フィデリオ』は、どのようなものになるのだろうか。ドラマツルグのダニエル・ウェーバーと共に、話をうかがった。

[Read More](#)



## 今こそ『フィデリオ』を掘り下げ ベートーヴェンのメッセージを熟考すべき

指揮 飯守泰次郎

正義、自由、夫婦愛を讃えるオペラが、新国立劇場に高らかに響く――

新国立劇場開場20周年記念を祝して新作するオペラ『フィデリオ』。リヒャルト・ワグナーの曾孫でパイロイト音楽祭総監督である気鋭の演出家カタリーナ・ワグナーが演出することでも大きな注目を集める公演を、オペラ芸術監督・飯守泰次郎が指揮する。

なぜ今、『フィデリオ』なのか、その思い語り、オペラ芸術監督としての4年間を振り返る。

[Read More](#)

## 『フィデリオ』

――ベートーヴェンの音楽が内包する自由への希求

沼口 隆 (国立音楽大学准教授)

『フィデリオ』の存在は独特である。いわゆる大作曲家が完成させた唯一のオペラで、現代のレパートリーに確固たる地位を築いている。ドビュッシーの『ペレアスとメリザンド』が比較対象にはなるかも知れないが、上演頻度の点だけを見ても比肩できるとまでは言えない。

〈ジ・アトレ2017年12月号より〉

[Read More](#)



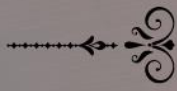
Movie  
動画

新国立劇場オペラ「フィデリオ」制作発表

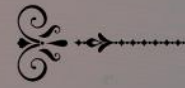


新国立劇場オペラ「フィデリオ」制作発表 | Fidelio | Press Conference





# Schedule & Tickets



公演日程&チケット情報

## 公演日程・チケット情報

公演日程 (2018年)

5月20日(日) 14:00

5月24日(木) 14:00

5月27日(日) 14:00



5月30日(水) 19:00

6月2日(土) 14:00

[Read More](#)

# チケット購入

## WEBからのお求め

 新国立劇場 Webボックスオフィス	▶
 チケットぴあ	▶
 e+ イープラス	▶
 ローチケ.com LAWSON TICKET	▶

## お電話からのお求め

新国立劇場 ボックスオフィス	<b>03-5352-9999</b> 10:00~18:00/年中無休 (休館日2018年3月19日(月)を除く)
チケットぴあ	<b>0570-02-9999</b> (Pコード321-501)
ローソンチケット	<b>0570-000-407</b> (オペレーター受付) <b>0570-084-003</b> (Lコード39198)
JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・ 東武トップツアーズほか	

### グループでのお申し込み

10名以上でご観劇の場合は新国立劇場営業部(TEL 03-5352-5745)までお問い合わせ下さい。

## ACCESS

### 新国立劇場のご案内

〒151-0071  
東京都渋谷区本町1丁目1番1号  
TEL : 03-5351-3011 (代表)

京王新線(都営新宿線乗入)「初台駅」  
中央口(新国立劇場口)直結。



## Share

公演をシェアする



## Follow us

公式ソーシャルメディア



新国立劇場ホームページ  
友の会クラブ・ジ・アトレ

